

平成30年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

総合学科として数多くの社会との接点を取りながら、豊かな心を持ち、自らの生き方を考えて各自の「夢」の実現に向けてチャレンジする主体的な生徒を育てるとともに、希望する多様な進路を実現できる確かな学力が身につく「進学重視の総合学科」をめざす。

- 1 多様な進路を支える教育活動を展開する
- 2 ともに学び、ともに育つ心を培う教育活動を展開する
- 3 自ら将来の夢を描き、それを実現できる生徒を育成する

2 中期的目標

1 確かな学力の育成と授業改善

(1) 授業の充実と授業改善（「授業内容に興味・関心をもつことができる授業」「授業を受けて、知識や技能が身に付いたと感じる授業」を行う）

ア 授業の「研究協議」や生徒の「授業アンケート」を効果的に活用するとともに、教員間における「授業見学」を行い、授業改善に取り組む。

※生徒の「授業アンケート」における『興味・関心を持つことができた』『知識技能が身に付いた』等の肯定的な評価の割合（平成29年度79%、82%）を平成30年度以降は共に85%以上にする。

(2) 自分の意見をまとめ、発表して、相手に（自分の）考えを伝える能力の向上

※生徒の「総合学科アンケート」における『コミュニケーション能力が身に付いた』（平成29年度79%）を平成30年度以降は85%以上にする。

(3) 自ら学ぶ意欲・姿勢の定着

ア 自主的な学習態度が身につく「勉強合宿」や「一日勉強会」等の取り組みを行う。

※生徒の「学校教育自己診断」における『学習に頑張ってきた』（平成29年度 1年48%、2年68%、3年81%）を平成30年度以降は全学年80%以上にする。

イ 学校行事を通して自主・自立性を育てる。

※生徒の「総合学科アンケート」における『自主性を伸ばすことが出来た』（平成29年度76%）を平成30年度以降は80%以上にする。

(4) 基礎学力の定着

ア 「学力生活実態調査」及び「堺東スタンダードテスト」の効果的な活用方法を継続的に検討し、基礎学力の定着を図る。

※「学力生活実態調査」における1, 2年生のGTZを共にB2にする。

※センター試験受験者（平成29年度109名）を平成30年度以降も100名超を維持する。

(5) 政治的教養をはぐくむ

ア 各学年において政治的教養をはぐくむ教育を一層充実させる。

2 安全で安心な学校づくり

(1) 人権教育の推進（生徒一人ひとりがそれぞれの個性を尊重しあう集団づくりを行い、人権を尊重する学校づくりを行う）

ア 自立支援コースの充実を図り、「ともに学び、ともに育つ」学校づくりを推進する。

イ 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」に基づいた指導を行う。

ウ いじめの早期発見・対応、体罰防止など、生徒一人ひとりの人権を尊重する学校づくりを推進する。

(2) 教員の人権意識の高揚

ア 校内人権研修を一層充実する。

※教員の「学校教育自己診断」における『人権教育の校内研修や学習会は充実している』（平成29年度78%）を平成30年度以降は90%にする。

(3) 生徒の規範意識の醸成

ア インターネット等による人権侵害の防止や交通マナーを遵守する指導を徹底する。

※生徒の「学校教育自己診断」における『生活指導上のルールを守っている』（平成29年度92%）を平成30年度以降95%にする。

(4) 通学路の安全確保

ア 行政とともに学校周囲の歩道整備を計画し、平成31年度の工事着工、2020年度完成をめざす。

3 夢の実現にチャレンジする積極的な生徒の育成

(1) キャリア教育の充実

ア「産業社会と人間」「総合的な学習の時間」「志学」「ホームルーム」の四つを通じてキャリア教育を充実する。

※生徒の「学校教育自己診断」のキャリア教育に係る満足度（平成29年度 1年84%、2年82%、3年79%）を全学年85%以上にする。

(2) 部活動の充実と学校行事への積極的な参加

ア 部活動を一層活性化し、生徒の入部率を上げる。

※部活動入部率（平成29年度74%）を前年度比5%引き上げをめざし、平成31年度には80%以上にする。

イ 学校行事への満足度を高める。

※「体育祭」「文化祭」の満足度（平成29年度「91.7%」「93.8%」）を平成30年度には共に95%超にする。

(3) 生徒の対外活動の活性化と地域連携

ア 本校総合学科の特徴である「堺学」を通じて堺市が主催する各種イベントへ積極的に参加する。

イ 部活動や授業において、地域の行事やボランティア活動に積極的に参加する。

4 開かれた学校づくりの推進と情報の発信

(1) ホームページの充実

ア 学校の情報をタイムリーに保護者・生徒に提供するとともに、外部に対して学校教育活動の周知を図る。

※ 公式ブログ等の更新頻度（平成29年度47回）を前年度比10%引き上げる。

(2) 学校説明会の充実

※ 7月と11月に実施するオープンスクールの参加数（平成29年度1,021名）を前年度比5%引き上げ、平成31年度は1,100名以上をめざす。

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [平成 30 年 11 月実施分]	学校運営協議会からの意見
<p>※自己診断アンケートは、生徒は 11 月 22 日に実施。教員と保護者については 1 月 22 日までに実施。</p> <p>※ここに示す%は肯定率を表す。</p> <p>【学習指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒は授業について 83% (1 年 89%、2 年 89%、3 年 70%) が「難しい」と評価し昨年の 85%よりやや改善され、「授業の教え方を工夫している教員が多い」という評価は 88% (1 年 71%、2 年 95%、3 年 97%) で昨年の 87%をやや上回った。今後も授業改善への取組みが必要である。 保護者アンケートの「子どもは授業が分かりやすく楽しいとっている」の評価は、63.1%で昨年と同じであった。これについては、さらに教え方の工夫と進度・内容の検討が必要である。 本校のキャリアガイダンスについては生徒の 87% (昨年 82%)、保護者の 86% (昨年 87%)、教員の 88% (昨年 81%) が適切であると評価している。総合学科としての全体への取組みや生徒への働きかけをさらに強化したい。 選択科目について、3 年生徒の 72% (昨年 73%)、保護者の 87% (昨年 87%)、教員の 82% (昨年 79%) が「生徒の興味関心に応じている、期待通りであった」と評価している。さらに魅力ある科目となるよう工夫に努めたい。 <p>【生徒指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校生活に対する意識については生徒の 72% (昨年 73%) が「行くのが楽しい」と自己評価し、また保護者の 83% (昨年 83%) が「子どもは学校へ行くのを楽しみにしている」と、どちらも横ばいであった。今後、より安全で安心な学校づくりの取組みを強化していきたい。 保護者は本校の生徒指導に 80% (昨年 80%) が肯定的であった。生徒の「自分は生徒指導上のルールを守っている」の問いでは、88% (昨年 92%) と非常に高い自己評価を得ている。実際、真面目な生徒が多く、この状態を次年度も持続していきたい。また、「人権教育の機会と内容」については生徒の 84% (昨年 83%)、保護者の 84% (昨年 83%) が肯定的に捉えており昨年度とほぼ横ばいである。「いじめへの対応」については、生徒の 80% (昨年 83%)、保護者の 81% (昨年 81%) が肯定的にとらえている。いじめや体罰等の人権侵害のない学校を今後もめざしていきたい。 <p>【学校運営】</p> <ul style="list-style-type: none"> 3 年生は 88% (昨年 81%) が総合学科を選んでよかったと評価し、75% (昨年 76%) が「自分で考える力・自主性を伸ばせた」、72% (昨年 69%) が「コミュニケーション能力が身についた」と評価し、前者は昨年度を上回った。総合学科の特色の一部見直しを視野に入れ、今後も生徒の育成に励みたい。 文化祭や体育祭等の学校行事について保護者は 88% (昨年 88%) が活発であると評価し、生徒は文化祭に 84% (昨年 82%)、体育祭に 81% (昨年 79%) が満足していると答えており、例年とほぼ横ばいであった。今後も生徒の自主性を尊重した学校行事の充実を図っていききたい。(参考) 生徒会アンケートの文化祭翌日分は 92% (昨年 92%)、体育祭翌日分は 93% (昨年 93%) 教育相談については、生徒の「担任の先生以外に相談できる先生がいる」は 45% (昨年 45%) と、毎年低い数値になっている。これは担任が面談等を繰り返し行い、親身になって相談にのっている結果とも考えられる。相談(教育、キャリア、健康)体制について、今年度も生徒支援委員会の教員が交替で常駐する体制に改善したが、来室生徒数は少なかった。 教員の「PTA 活動へ参加している」が 57% (昨年 47%) であった。次年度も校内でできる P T A 活動の企画や行事の内容を検討し、教職員に啓発することによって参加率を高めたい。 教員の「仕事の引継ぎがスムーズに行われて継続性がある」については 49% (昨年 51%) であった。これに対しては、年度替わりの各分掌、各学年、各委員会において、次年度の課題に向けての対応の仕方や、課題解決方法などを引継ぎ、一人ひとりが組織人として情報共有、共通理解を深めていく必要がある。特に主任や長が変わる場合は必ず全てのデータ(電子・紙媒体)を引き継ぎ、円滑に運営が行われるようにすることが必要である。 教員の「職員会議等が意思疎通や意見交換の場として有効に機能している」については 54% (昨年 44%) であった。職員会議については、あらかじめ企画委員会で協議内容の論点を整理し、意見交換も十分に行われた後の開催となるため、そのような評価になると思われる。今年度は秋に「魅力ある授業」をテーマに研究協議形式の研修会をしたところ、活発な討議がなされた。来年度も、より活発な意見交換ができる環境づくりを行う必要性があると考えます。 <p>【情報提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「学校は教育情報について知らせてくれる。」については、生徒は、1 年 82% (昨年 78%)、2 年 85% (昨年 90%)、3 年 85% (昨年 83%)、全体 84% (昨年 84%) の肯定率である。ただし保護者は 77% (昨年 78%) の肯定率で若干の差が見られ、今後更なる情報提供の充実に向けて取組みが必要である。 <p>【環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「学校の施設・設備に満足している」については、生徒 55% (昨年 53%)、保護者 67% (昨年 67%)、教員 66% (昨年 60%) であった。自由記述では、緊急連絡の充実、科目選択などの意見が出た。 	<p>第 1 回 (7/23)</p> <p>○確かな学力の育成と授業改善について</p> <ul style="list-style-type: none"> 2 年後には、新しい共通テストが実施されることになっています。学校経営計画にある「確かな学力の定着」のためにも、時間や習慣の計測が必要だと考えます。高校での活動の記録をこまめにとることや英語の外部試験に対応できるよう対策をしておくことが大切だと感じます。 関心や意欲は基礎学力があつてこそ生まれてくるものだと感じます。家庭で自主学習できる生徒にする必要があると考えます。 公職選挙法が改正され 18 歳から選挙に参加するようになるなど、大人扱いが進んでいる社会状況の中、消費契約締結に関する取り組みなども進めるべきだと思います。 <p>○安全で安心な学校づくりについて (通学路の安全確保)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自転車の事故が増えてきているようですが、対策を検討することが大切です。また、事故にあった際、気が動転していて「大丈夫です」と答えてしまうことがありますが、必ず警察に連絡するように指導して欲しい。 <p>○開かれた学校づくりの推進と情報の発信について</p> <ul style="list-style-type: none"> 先日の地震や警報でも混乱があつたが、保護者向けの緊急連絡について検討を進めるべきではないか。 <p>第 2 回 (11/29)</p> <p>○確かな学力の育成と授業改善について</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年は、私立大学が定員率の厳格化を受けて合格者を絞り込んでいます。受験生も安全志向が進んでいるので、大学によっては昨年・一昨年に比べてランクが一つ上がっている状況です。予備校や塾に通っていない生徒は、学校を頼りにしています。先生方も情報を集めて共有し、生徒だけでなく保護者にも安心してもらえるような指導をする必要があります。 夢の実現にチャレンジする積極的な生徒の育成について 進学を考えて 2 年から 3 年にかけて予備校や塾に行き始める生徒が多くいます。予備校などは、進学を担保したいので現役の生徒が学力が伸び始める前の 5 月末ぐらいに志望校を決める傾向にあります。うまく指導してモチベーションをあげる必要があります。 ダンス部や演劇部など部活動の活躍やオーストラリアの語学研修に参加するなど生徒の意欲的な活動が目立ちます。これからも続けてもらいたいと思います。 <p>○開かれた学校づくりの推進と情報の発信について</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年度は、地震や台風、豪雨など災害が集中しました。本校でも、ロッカーが倒れたり、情報教室で雨漏りがあつたようですが、保護者や生徒に向けた緊急連絡の方法を検討する必要があると考えます。 <p>第 3 回 (2/18)</p> <p>○確かな学力の育成と授業改善について</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業の充実をめざして校内研究授業を行いました。次年度に向けてどのように繋げていくかが課題であると考えます。 I C T 環境整備については、3 年後に 50 周年を迎えますので、P T A、後援会、同窓会などのご協力をいただきながら進めていくべきと考えます。 <p>○安全で安心な学校づくりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年は、地震や台風など災害が多い年でした。登校している生徒の帰宅のさせ方や食糧などの備蓄など検討する必要があると考えます。また、多くの生徒が自転車通学していますので、歩道の整備だけでなく、堺市などと連携して自転車専用道路の充実なども検討していく必要があると考えます。 <p>○開かれた学校づくりの推進と情報の発信について</p> <ul style="list-style-type: none"> H P については、P T A の委員さんから部活動を充実してほしいというご意見をいただいて更新したところアクセス数が増え、学校説明会などの参加者も増えています。次年度に向けてより一層充実を図る必要があると考えています。また、災害時の対応などのために来年度から連絡ソフト「さくら連絡網」を導入し情報発信する予定です。

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 確かな学力の育成と授業改善	(1) 授業の充実と授業改善 ア 授業公開と授業アンケート等の活用 イ ICT 機器等を活用した工夫ある授業の創出 ウ 高大連携・インターンシップへの取組み	(1) ア・教員相互の授業公開、管理職の授業観察、研究協議等を通じて授業力を向上させる。 ・授業公開週間を設け教員相互が授業見学を行う。 ・管理職が授業改善に係る指導助言を行う。 ・教員自ら授業アンケート結果を検証し、授業改善を積極的に行う。 イ・「主体的・対話的で深い学び」の在り方を踏まえ、ICT 機器等も活用した授業の工夫に努める。 ・ICT 機器が利用できる教室の整備を進める。 ・ICT 機器を活用すると同時に教材の共有化を図り、授業準備等に係る業務の軽減にも努める。 ウ・高大連携やインターンシップを充実させる。	(1) ア・教員の授業見学や研究協議への参加率 90% 〈H29-68%〉 ・授業アンケートの(問8)『授業内容に興味・関心を持った』、(問9)『授業を受けて知識や技能が身に付いた』の満足度 85% 〈H29-(問8) 79%(問9) 82%〉 イ・授業アンケートの(問6)『教材や教え方を工夫している』の満足度 85% 〈H29-82%〉 ・ICT 利用可能な教室を増室する。 ウ・医療系大学高大連携講座参加者 25名 〈H29-21名〉	(1) ア・11/9に校内公開研究授業を行い、その後活発な研究協議会を実施した。教員参加率は(50名/61名で)82%であった。今年度は「日々の授業づくり」「アクティブラーニングの有効性」などについて活発な意見が出た。次年度も研修を通して授業内容や授業方法の研究や改善に取組みたい。(△) ・授業アンケートでは「興味・関心を持った」80%、「知識技能が身に付いた」82%の満足度でほぼ横ばいとなった。次年度も引き続き、授業改善に取組み満足度アップをめざす。(○) イ・教材活用等の満足度は85%で、今後も維持をめざす。(○) ・ICT 利用可能教室の増室については、具体的に立案し、学校経営推進事業費の獲得なども試みたが却下。周年事業として実現をめざす。(△) ・ICT 利用に伴う教材共有化の進展は認められないが、個々において継続的な教材作りが進み、業務軽減に繋がっている。(△) ウ・医療系大学の高大連携講座に10名が参加した。今後も一層高大の連携を深めていきたい。(△)
	(2) 自分の意見をまとめ、発表して、相手に自分の考えを伝える力の向上	(2) ・授業や集会において、自分の考えを発表したり他者の意見を聞いたりする機会を増やす。 ・授業の中でプレゼンテーションの機会を増やす。 ・校外の研究発表等に積極的に参加する。	(2) ・総合学科アンケートの『コミュニケーション能力が身についた』75%〈H29-69%〉 ・プレゼンを取り入れた授業を全ての教科で行う。 ・総合学科アンケートの『自主性を伸ばせた』80% 〈H29-76%〉	(2) ・「探求講座」「保健」「社会と情報」「国際理解」等でプレゼンを実施。今後も多くの教科において自分の考えを伝える授業を増やしたい。(○) ・「看護基礎」を受講する3年生2名が「大阪府総合学科高等学校研究発表会」で看護実習についてのプレゼンをポスターセッション形式で行った。また、地学部生徒が11月に開かれた「地学部研究発表会」で今年度も「酸性雨」について研究発表し、表彰された。堺市博物館主催「日本と世界が会うまち・堺 研究発表大会」では「堺学」の授業作品を展示発表した。「国際理解」では ONE WORLD FESTIVAL for Youth (外務省・大阪府教委後援)でポスターセッション形式のプレゼンを行った。(◎) ・「コミュニケーション能力が身についた」72%、「自主性を伸ばせた」75%〉(△)
	(3) 自ら学ぶ意欲・姿勢の定着 ア 講習等の充実 イ 学習関連行事への積極参加 ウ 自主学習習慣の確立	(3) ア・学年や教科が中心となり、補習・講習を充実させ、学習意欲を喚起する。 イ・校外でのセミナーや模擬試験など、様々な学習行事に自ら参加する姿勢を育てる。 ・「進学合宿」「勉強合宿」を充実させる。 ウ・自習室や進路指導室の活用及び、家庭学習を促す。	(3) ア・学校教育自己診断の『学習にがんばってきた』全学年 80% 〈H29-1年 48%, 2年 68%, 3年 81%〉 イ・「進学合宿(3年)」「勉強合宿(1,2年)」への参加者が共に30名 〈H29-「進学」10名「勉強」18名〉 ウ・学校教育自己診断の『家での学習時間がない』0% 〈H29-1年 35%, 2年 11%〉	(3) ア・3年次について、前期6講座、夏休み19講座、後期8講座、冬休み5講座を開講し、内容充実に努めた。(○) イ・昨年度3/22より1泊2日で1,2年生の「勉強合宿」を実施し13名が参加した。3年生の「進学合宿」は8月上旬に2泊3日で企画したが参加者が集まらず中止となった。日程、内容等を再検討し、次年度の充実を図りたい。(△) ・「学習にがんばってきた」(1年 51%、2年 68%、3年 80%)〉(△) ウ・自習室、進路指導自習コーナー、看護系自習コーナーは、ほぼ毎日多数の生徒の利用があり、進路指導部・3年学年団を中心に付き添った。今後も継続的に活用度を高めたい。(○) ・「家庭学習0」(1年 24%、2年 28%)〉(△)

府立堺東高等学校

	<p>(4) 基礎学力の定着</p> <p>(5) 政治的教養をはぐくむ</p>	<p>(4) ・講習等で「学力生活実態調査」のやり直し(リトライ)を徹底し、国・数・英の基礎学力を定着させる。</p> <p>(5) ・各学年共に「HR」「授業」「産業社会と人間」等の時間において、外部機関と連携して充実した政治的教養をはぐくむ取組みを行う。</p>	<p>(4) ・1年2年共に第2回「学力生活実態調査」の3教科全てGTZ「B2」 〈H29-1, 2年B2〉 ・センター受験者100名 〈H29-109名〉</p> <p>(5) ・各学年共に「指導計画」書に定められた指導を完了する(1・2年5単位時間、3年3単位時間)</p>	<p>(4) ・「学力生活実態調査」については、教員による再指導(リトライ)を行なっている。平均GTZは、1年生はB2を堅持したが、2年生はB3の結果となった。次年度以降も指導を継続したい。(△) ・センター試験は98名が出願、93名が受験した。(○)</p> <p>(5) ・「HR」「産業社会と人間」等を活用して政治的教養をはぐくむ取組みを規定通り実施した。1年次は外部講演なども実施し、選挙・公約や新聞記事に興味を持ったとの意見が出るなどの効果があった。(◎)</p>
<p>2 安全で安心な学校づくり</p>	<p>(1) 人権教育の推進 ア 自立支援コース生徒と一般生徒との交流 イ 合理的配慮への取組み ウ 支援学校との交流活動</p> <p>(2) 教員の人権意識の高揚 ア 人権研修の充実 イ サポート校としての実践推進 ウ 教育相談体制の充実</p> <p>(3) 生徒の規範意識の醸成</p>	<p>(1) ア・「自立支援コース」生徒と一般生徒の授業交流の機会を保障する。 イ・子どもや保護者から配慮を求める意思表示があった場合は「合理的配慮」を行う。 ウ・支援学校との交流会を一層充実させる。</p> <p>(2) ア・教職員の人権研修を充実させる。 イ・支援教育サポート校として他校を支援する。 ウ・教育相談体制を充実させる。また、そのことを通じて、全体で教育相談に当たる意識を醸成し、一部の教職員にのみ掛かる負担を緩和する。</p> <p>(3) ・安全で安心な学習環境をつくる。 ・ネット上のいじめ等が発生しないように情報モラルを育成する。 ・集会やHRで交通ルール遵守の姿勢を育てる。</p>	<p>(1) ア・「自立支援コース」生徒と一般生徒の交流授業の科目数を維持する。 〈H29-6教科〉 イ・不当な差別的取り扱いを生起させない。 ・支援を必要とする生徒への取組みを継続する。 ウ・夏の支援学校との交流会への参加者40名 〈H29-36名〉</p> <p>(2) ア・教員の「学校教育自己診断」における人権教育関連項目の肯定率85% 〈H29-78%〉 イ・他校への支援件数を前年度並みに維持。 〈H29-18校43件〉 ウ・学校教育自己診断の『相談できる先生がいる』の肯定率50% 〈H29-1年39%, 2年39%, 3年57%〉</p> <p>(3) ・学校教育自己診断の『生活指導上のルールを守っている』95% 〈H29-92%〉 ・携帯電話やネット上のトラブルを生起させない。</p>	<p>(1) ア・芸術、社会、理科、福祉、保健、HRの授業で交流を行った。情報の授業でインタビュー記事や情報モラルについてのプレゼン作品を仕上げた(○)。 イ・希望する自立支援生徒に、ICT機器(タブレット型PC)の使用と縦書きプリントの配布などの配慮を行った。(○) ・配慮を要する生徒の学習を保障するため、組織的に対応した。(◎) ウ・夏の堺支援学校訪問交流に生徒47名が参加した。今後も生徒会と連携して障がい理解を推進したい。(◎) ・冬の堺支援学校招待交流では、54名を招いて生徒会主体の全校歓迎会を実施し、その後、1年生が全クラスでのHR交流を行い、レクレーション等で親睦を深めた。(○)</p> <p>(2) ア・公開人権研修を2回実施した。8/27の「いじめ問題と子ども達の実態」校内参加率93%(56名/60名)、2/4の「発達障がいのある当事者が思い描く共生社会」校内参加率90%(54名/60名)。両研修ともに講演後に活発な研究協議が行われた。(○) 〈教員向校内研修の肯定率77%〉(△) イ・支援教育サポート校として他校からの相談件数が17校44件。その他高校だけでなく小中学校や市町村への研修講師依頼が5件、関係会議への参加が21回あり、積極的に支援を行うことができた。(○) ウ・月に平均1回来校するスクールカウンセラーによる相談が32件、サポート室の教諭による相談もあり、教育相談体制は充実している。なお、教育相談委員による交替制で、教育相談室を授業時間中は開室している。(◎) 〈「担任以外で相談できる先生」の肯定率1年40%, 2年37%, 3年59%〉(△)</p> <p>(3) ・年間3回全教員で、また毎日教員4名当番制で通学マナー、服装、頭髪の登下校指導を実施した。授業時間内は当番制で校内巡回も実施した。(○) 〈生徒「生活指導上のルールを守っている」91%〉 ・集会、探求、HRや情報の授業で実施している「情報モラル」に関する指導により、携帯電話やネット上の大きなトラブルは、発生していない。(○) ・全校集会や学年集会など機会あるごとに生徒指導部より交通ルールの指導を行った。(○)</p>

府立堺東高等学校

	(4) 通学路の安全確保	(4) ・堺市建設局と協議しながら、学校敷地周辺の歩道整備を進める。	(4) ・歩道整備計画の適否等について堺市とともに調査する。	(4)・地域の自治連合会とも連携を図り、堺市との協議を継続している。(○) ・災害時等における生徒・教職員の安否確認や、臨時休校等の緊急連絡のため、生徒・保護者・教職員対象のメール連絡網を構築した。運用は4月開始予定。(◎)
3 夢の実現にチャレンジする積極的な生徒の育成	(1) キャリア教育の充実 ア 教科・科目の連携 イ インターンシップの充実 (2) 部活動の充実と学校行事への積極的な参加 ア 体罰のない充実した部活動指導 イ 学校行事の活性化	(1) ア・生徒の進路実現に向けて「産社」「志学」「HR」「総合」の有機的な連携を図る。 ・「志学」において大学や専門学校への説明会等への積極的な参加を図る。 イ・保育所、病院、老人介護施設へのインターンシップの充実を図り、それぞれの職業への理解を深める。 (2) ア・体罰のない部活動指導を行い、充実した部活動運営を行う。 ・部活動の入部率を上げる。 ・地域の中学校との部活動交流を積極的に行う。 イ・「体育祭」「文化祭」「クラスマッチ」等、生徒が自主運営する学校行事を活性化する。 ・生徒会活動や各種学級委員会活動を充実させる。 ・修学旅行などの行事に継続性、発展性を持たせるべく、研究・調査を行う。	(1) ア・学校教育自己診断における「キャリア教育」に係る満足度 90% <H29-1年84%, 2年82%, 3年79%> ・「大学訪問レポート」提出率 100%を維持 <H29-100%> イ・保育所、病院、老人ホームへのインターンシップ参加者数のべ30名 <H29-28名> (2) ア・体罰ゼロの継続 ・「近畿大会」以上へ出場するクラブを増やす。 <H29-2クラブ> ・部活動入部率 80% <H29-74%> ・中学校との部活交流を行う部活動を増やす。(3クラブ以上) <H29-2クラブ> イ・「体育祭」「文化祭」に係るアンケートの満足度 95% <H29-「体育祭」91.7%、「文化祭」93.8%> ・生徒の各種委員会を毎月1回以上行い、活動内容をHP等に掲載する。	(1) ア・<「キャリア教育」に係る満足度 87% (1年88%、2年85%、3年88%)> (△) ・生徒の進路実現に向けて、3年前期には企業について学ぶ「就職と人権」、1・2年では学問の系統や上級学校について学ぶ「模擬授業」「学部学科別がイブンス」「大学等見学」など、各学年において「産社」「志学」「HR」を活用して「キャリア教育」に取り組んだ。(○) ・2年生と1年生の希望者が大学や看護専門学校への見学会を実施し、レポート提出を課した1年生の提出率は100%であった。(○) また1年生が「探求入門」として、大学のオープンキャンパス等に参加するという夏休みの「探求課題」のレポートを全員が発表した。(○) イ・6月の病院見学会に10名の生徒が参加し、8月に保育所4名、病院5名・老人ホーム5名の生徒がインターンシップに参加し、合わせて24名が職業理解を深めた。今後も参加を推進したい。(△) (2) ア・「安全で安心な学校生活アンケート」を7月と11月に実施し、今年度も「体罰」が無いことを確認をした。(◎) ・部活動の加入率は79.7%で目標とする前年度比5%引き上げを達成した。(○) 次年度に80%の入部率をめざす。 ・地域の中学校との交流として女子バスケットボール部が8月は12校、12月にも12校を招いて本校主催の「ドルフィンカップ」を開催、男子バレー部も昨年に引き続き中学校を招いて積極的に交流を行った。今後も継続したい。(△) ・ダンス部が全国大会に出場し2位の成績を収め、演劇部は近畿大会出場を果たした。また、男女ハンドボール部は秋期総体で府5位の実績を上げた。今後も引き続き指導を続ける。(◎) イ・「体育祭」92.2%、「文化祭」93.3%の満足度で、昨年同様の水準を維持。(△) しかし、文化祭は台風等の影響で準備期間の短縮や中庭企画の変更などの対応を余儀なくされたが、行事における携帯使用のルールを確立するなど、生徒の自主性を伸長することにつながった。(○) 今後も生徒の積極参加を促し、自主性を尊重した行事の充実を図っていく。 ・月1回程度、図書委員会、保健委員会を行い、「図書新聞『パピルス』」、「保健だより」を発行した。他の学級・風紀・文化・体育等の各委員は、オープンスクール運営・文化祭・体育祭運営に協力し、各行事をホームページで紹介した。(○) ・修学旅行検討委員会を発足させ、今後3年間を継続させるべくコンセプトの共通認識を図り、具体プラン立案に着手した。次年度へ継続し、完成をめざす。(◎)

府立堺東高等学校

	<p>(3) 生徒の対外活動の活性化と地域連携</p>	<p>(3) ・地元の小学校との交流を充実させる。 ・堺市の観光協会や博物館が主催する行事への参加を促す。 ・地域のイベントへの参加や、ボランティア活動への参加を促す。</p>	<p>(3) ・地域の小学生との授業交流を続ける。 ・「堺学」の授業発表や堺市が主催する各種イベントへの参加を年間3回以上行い「学びの質」を高める。 <H29-4回> ・地域のボランティア活動への参加者数のべ150名 <H29-107名></p>	<p>(3) ・「福祉基礎」「介護基礎」選択生徒が地域の小学校を招いて車椅子体験、視覚障がい者体験を指導し、交流した。(○) ・「堺大魚夜市」「堺文化財特別公開」「堺学フィールドワーク」「堺市博物館研究発表会」に参加し、地域との活発な交流・活動を行った。今後も「堺学」に関する学びを深める行事への参加を推進したい。(○) ・ボランティアでは、5月「緑のつどい」9名、7月「堺大魚夜市」44名、8月「地域夏祭」13名、9月「地域敬老会」(中止)(5名予定)、「堺観光ガイドボランティア」14名、「FP0障がい者スポーツ大会」15名、11月「南区クリーンキャンペーン」1名、「保育園秋祭」10名、「府民レクフェスTBG大会」15名、合計121名が参加した。また部活動においても、吹奏楽部、合唱部が特別養護老人ホームで演奏会を開催した。いずれも毎年継続した活動として定着しており、地域からも感謝されている。来年度も積極的に参加を推進したい。(△)</p>
<p>4 開かれた学校づくりの推進と情報の発信</p>	<p>(1) ホームページの充実</p> <p>(2) 学校説明会の充実</p>	<p>(1) ・ホームページを頻繁に更新し、学校情報を積極的に発信して在校生やその保護者、中学生やその保護者に必要な情報を提供する。 ・緊急時の情報提供にホームページを活用する。</p> <p>(2) ・在校生が関与する体験的なオープンスクールや、ミニ見学会を充実させる。 ・中学校や塾からの要請による「学校説明会」等に積極的に参加する。</p>	<p>(1) ・ホームページへの年間アクセス数8万件以上 <H29-77,000件> ・更新回数10%アップ <H29-47回> ・公式ブログ数10%アップ <H29-48本> ・校長ブログ数10%アップ <H29-67本> ・各クラブページの更新年1回以上</p> <p>(2) ・2回のオープンスクール参加生徒・保護者を合計1,100名以上 <H29-1,021名> ・ミニ見学会参加者総数400名以上 <H29-380名> ・中学校等への出張「学校説明会」15件 <H29-13件></p>	<p>(1) ・昨年度、スマートフォン対応に改修したホームページには年間97,000件(昨年比2万件増)のアクセスがあった。在校生や保護者による行事日程等の確認をはじめ、中学生とその保護者によるオープンスクールのネット申込みまで活用度が高い。また、昨年に引き続き「校長ブログ」で日々の学校の様子を紹介している。次年度も、より充実したホームページ作りに努める。(◎) ・「臨時休校の連絡ブログ」をトップページに立ち上げ、運用を開始した。(○) <更新回数78回/公式ブログ数67本/校長ブログ数73本/クラブ紹介更新25部>(◎)</p> <p>(2) ・生徒による学校生活の紹介、クラブ体験など、オープンスクールを2回実施し、中学生621名、保護者等260名、計881名が参加した。(△)参加した中学生の感想として、「分かりやすかった」「大体分かった」が96.2%、「進路決定の参考になった」が94.3%という回答を得た。(○) ・学校説明会の依頼は中学4校、市町等から4件、塾等から5件あり、合計13件全て参加した。さらに、休日の中学生ミニ見学会を9回実施し、合計437名の参加申し込みがあった。次年度も積極的に情報発信に努める。(△)</p>